

新しい校正の 方法と実践

役は時代に 立つ

「本づくり基礎講座」で大好評の校正講座をさらにグレードアップした、編集者・校正者のための「実践編」です。豊かな経験をもとに、“実務でおさえるべきツボ”などを事例をあげながらやさしく解説、「校正の基本と極意」を惜しみなくお伝えいたします。みなさんのご参加をお待ち申し上げます。

■大西講師のご挨拶

「どうしてこんな見落としに、だれも気づかなかったんだ!?!」
タイトなスケジュールと予算のなか、ぎりぎりの現場で私たちが、思いがけないミスが発生するリスクといつも背中合わせです。

DTP が出版物制作の中心となったいま、従来の校正術では対応しきれない場面が増えてきました。本講座では、ワークフロアのなかで校正が占める役割を再定義するとともに、デジタル時代にふさわしい、新しい校正とは何かを解き明かしていきます。

致命的な見落としを防ぎ、出版物の品質を向上させる、校正力upのための実践講座です。

●参加要項●

- ◆講師 大西寿男 氏 (ぼっと舎／校正者)
- ◆日時 平成 26 年 8 月 6 日 (水) 13:30~18:00
- ◆会場 日本出版クラブ会館 (会議室)
(東京都新宿区袋町 6
都営大江戸線 牛込神楽坂駅より徒歩 2 分)
- ◆受講料 出版クラブ維持員社 8,000 円
(一般参加者 10,000 円)
*教材費・テキスト代を含む
- ◆定員 80 名 (申込順、定員になり次第締切らせていただきます)
- ◆申込 別紙申込書に必要事項をご記入の上、FAX または郵送にてお申込み下さい。
FAX: 03-3267-6095
- ◆振込先 三菱東京 UFJ 銀行 神楽坂支店 普 0062459
口座名:〈ザイ〉ニホンシユツパンクラブ
*当日会場での直接お支払いは受付ておりません
- ◆お問合せ 日本出版クラブ事務局 担当／杉山
TEL: 03-3260-5271

主催

一般財団法人 **日本出版クラブ**

〒162-0828 東京都新宿区袋町6 TEL.03(3260)5271

講座内容

■講義内容 (講義内容及び進行は、講義の都合で変わる場合があります)

第 1 部 ●デジタル時代の校正

- ・赤字の入れ方
- ・漢字の字体
- ・美しいルビの付き方と電子書籍
- ・組版と表記の新しい傾向

第 2 部 ●素読みの力

- ・同音異義語と漢字の使い分け
- ・読者への配慮 著者への配慮
- ・差別表現

第 3 部 ●デジタルデータを校正する

- ・Word
- ・PDF
- ・リッチテキスト

第 4 部 ●ワークフローのなかで

- ・情報の共有と整合性のチェック
- ・著者校正 編集者の校正 校正者の校正
- ・編集者が校正するとき
- ・質疑応答

■講師略歴

大西 寿男 (おおにし・としお)

1962年、兵庫県神戸市長田区に生まれ育つ。

1988年より、東京で校正者として働くかたわら、編集・DTP・手製本など自由な本づくりに取り組む。

校正の仕事では、岩波書店、集英社、河出書房新社、作品社、藤原書店、三省堂、新潮社などの外部校正者として、文芸書、人文書を中心に、実用書や新書から専門書まで、幅広く手がけてきた。

その20余年の経験をもとに、2009年に“校正とは何か?”を追究した著書『校正のころ』が、“これまでになかった包括的な校正の方法論”として反響を呼ぶ。

1998年、校正と本づくりの個人出版事務所・ぼっと舎を開設。

<http://www.bot-sha.com/> [twitter@bot_sha](https://twitter.com/bot_sha)

(主な著書)

『校正のころ——積極的受け身のすすめ』(創元社)

『校正のレッスン——活字との対話のために』(出版メディアパル)

(進行の都合で、若干内容変更が生じる場合もあります)